

小学校社会科 単元指導計画（第4学年） 【例】

○単元名「自然災害から人々を守る活動」[第4学年(3)]

○単元の目標

自然災害から人々を守る活動について、過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりしてまとめ、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現することを通して、地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解できるようにする。

※資質・能力の三つの柱に即して、三文で書くことも考えられる。

○単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①地域の関係機関や人々は、自然災害（水害）に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解している。 ②聞き取り調査をしたり、地図や年表などの資料で調べたりして、まとめている。	・過去に発生した地域の自然災害（水害）やその際に関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考えるとともに、地域社会の一員として、自分たちにどのような行動ができるか考え、表現している。	・自然災害から人々を守る活動について、見通しをもって学習に取り組み、学習を振り返りながら主体的に問題を解決しようとし、学習したことをもとに、地域社会の一員として、自分たちにどのような行動ができるか考え、生活に生かそうとしている。

○指導と評価の計画（全12時間） ※網掛けは、評価したことを記録に残す場面

次 程	ねらい	主な学習活動・内容	評価規準と評価方法
単元の導入 ① ②	○自分たちの住む地域で過去に起きた災害（本案では数年前に起きた豪雨災害、水害を想定）について調べる活動を通して、学習問題をつくることができるようにする。	・日本で起きた災害について問い、写真資料等を提示する。 ・自分たちの住む地域で起きた災害について、知っていることや災害に対して自分たちができることについて意見を出し合う（デジタル付箋等を用いることも考えられる）。 ・自分たちの住む地域で過去に起きた水害について、その様子や対応を中心に、市町村のホームページ等で調べる（1人1台端末）。 ・調べた内容を災害発生時、事前の備えの視点や活動の主体を視点に、表などを用いて分類・整理する活動を通して、県や市町村、地域の関係機関や人々の役割や協力を気付かせ、学習問題を設定する。	○自然災害から人々を守る活動について、自分たちの地域における県や市町村、地域の関係機関や人々の役割や協りに着目して、問いを見い出している。（ノート、発言）【思】
	○学習問題の解決に向けて予想したり学習計画を立てたりすることができるようにする。	□写真「地域で起きた水害の様子」 □資料「地域で起きた水害の被害」 □市町村のウェブサイト ・学習問題を追究するための学習計画を立てる。 □学習計画表	○学習問題の解決に向けて予想したり、学習計画を立てたりし、解決の見通しをもっている。（ノート、学習計画表）【思】【態】
災害（災害発生時、事前の備え）について、県や市町村などの関係機関や人々にはどのような役割があり、どのように協力しているのだろうか。→災害について、私たちはどのような行動ができるだろうか ※関係機関の方や災害時に活動した方等に提案する（私たちの行動計画）			

※評価については国立教育政策研究所発行の「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校社会を参考に設定した。

第二次 ③ ④ ⑤	○自分たちの住む地域で起きた水害について調べ、問題解決のための情報を集めることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1台端末を用いて調べたり、保護者等に聞き取り調査をしたりして情報を集める。 ・集めた情報を整理して、問題解決に足りない情報を確認する。 ・問題解決に足りない情報を中心に、市町村等の関係機関の方や災害時に活動した方に聞き取り調査を行う。(オンラインで実施することも考えられる)。 ・近隣の河川等の被害状況を調査するためにフィールドワークを行う(写真で記録する)。 <input type="checkbox"/> 市町村のウェブサイト(ハザードマップ等) <input type="checkbox"/> デジタル地理院地図	○問題解決に向けて、調べたり聞き取り調査をしたりして、情報を集めている。【知-②】
	○集めた情報を整理し、情報を関連付けて、学習問題について考え、表現する活動を通して、自然災害に対する、地域の関係機関等の役割や協力について理解できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・集めた情報を、災害発生時、事前の備えの視点、活動の主体を視点を、表などを用いて分類・整理したり、矢印を用いて関連付けたりして、学習問題について考え、文章で表現する。 ・考えを班で交流し、気付いたこと等を加筆する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○集めた情報を見学の視点をもとに表などに適切にまとめている。(ノート、表)【知-②】 ○整理した情報を関連付けて、過去におきた水害における、関係機関の役割や協力について、自分の考えを文章で記述している。(ノート)【思】 ○自然災害に対する、地域の関係機関等の役割や協力について理解している。(ノート)【知-①】 ※「自助」「公助」「共助」
第三次 ⑧ ⑨ ⑩	○これまでの学習を踏まえ、新たな問題について考え、新聞等の形式で表現できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習で作成した表やまとめ等を参考に、私たちができる行動について考える。 ※関係機関との連携や「自助」「公助」「共助」の視点 	○自然災害から人々を守る活動について、地域社会の一員として、自分たちにどのような行動ができるか考え、適切に表現している。(ノート、発言)【思】
	災害(災害時、防災)について、私たちはどのような行動ができるだろうか	<ul style="list-style-type: none"> ・班で考えを交流し、具体的な提案(行動計画)を考える。必要がある場合は、再度調べ学習を行う。 ※新聞やパンフレット、プレゼンテーションソフトの活用等、提案の方法についても考える。 ・班で新聞やパンフレット等を作成する。 ・提案を交流し、他の班からの意見をもとに修正を行う。 ・提案を市町村等の関係機関の方や災害時に活動した方に送付して意見をいただく。※可能であれば直接提案する機会をつくる(オンラインで実施することも考えられる)。 	
単元のまとめ ⑫	○単元のまとめ、振り返りを行い、災害について、県や市町村などの関係機関や人々の役割や協力について理解できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習をもとに、単元のまとめを文章で記述する。 ・単元の学習の振り返りを行う。 <input type="checkbox"/> 児童が収集した情報をまとめた資料 <input type="checkbox"/> 児童が作成した新聞やパンフレット等 <input type="checkbox"/> 提案後の関係者からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ○自然災害に対して、地域の関係機関等が役割を果たし、協力して対処してきたことや、今後の備えについて理解している。(ノート)【知-①】 ○過去におきた水害における、関係機関の役割や協力、地域の一員として、自分たちにどのような行動ができるか、自分の考えを文章で記述している。(ノート)【思】 ○自然災害から人々を守る活動について、主体的に問題解決しようとし、地域の一員として、自分たちにどのような行動ができるか考え、生活に生かそうとしている。(ノート)【態】
	災害発生時には、県や市は被害状況を把握したり、避難を呼びかけたりし、消防や警察、自衛隊などが救助活動を行う。事前の備えにおいては、県や市は防災避難計画を作成・周知し、消防や警察、地域の人々が連携して避難訓練などを行っている。災害発生時、事前の備えのどちらにおいても、多くの機関が連絡を取合ったり、情報を共有したりして協力し、人々が安全に生活できるように努力している。 →子ども用の防災計画や、小学生の災害行動計画を作成し、関係機関に提案・周知する。また、避難訓練の際に実際に活用する。等		